

## 授業科目

## 臨床免疫学II

担当教員名 川村 宏樹	対象学年	3	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎		

## 授業の概要

疾患と免疫応答の関連を体系的に学習し、検査との関連について理解する。

## 授業の目的

1. 生体内免疫反応と臨床検査及び検査値の考え方を修得する。
2. 輸血検査に必要な血液型の遺伝など基本的な知識を習得し、輸血検査の意義を理解する。

## 学習目標

1. 感染症、免疫疾患、アレルギーなどの免疫応答と検査について説明できる。
2. 腫瘍免疫、移植免疫について解釈できる。
3. 血液型の遺伝や免疫について説明できる。
4. 輸血における検査の意義と重要性を説明できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	感染症の免疫応答と検査結果の評価（1）	講義	川村 宏樹
2	感染症の免疫応答と検査結果の評価（2）	講義	川村 宏樹
3	自己免疫疾患と検査結果の評価（1）	講義	川村 宏樹
4	自己免疫疾患と検査結果の評価（2）	講義	川村 宏樹
5	免疫不全症と検査結果の評価	講義	川村 宏樹
6	アレルギー疾患の機序と分類	講義	川村 宏樹
7	アレルギー疾患と検査結果	講義	川村 宏樹
8	移植免疫	講義	川村 宏樹
9	腫瘍免疫	講義	川村 宏樹
10	輸血・輸液の概要	講義	川村 宏樹
11	A B O式血液型の基礎と検査法	講義	川村 宏樹
12	R h式血液型の基礎と検査法	講義	川村 宏樹
13	その他の血液型の基礎	講義	川村 宏樹
14	輸血検査と結果の評価（1）	講義	川村 宏樹
15	輸血検査と結果の評価（2）	講義	川村 宏樹

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	臨床検査学講座 免疫検査学第2版	窪田 哲朗 他	医歯薬出版	2013年	5,600円+税	
参考書						
その他の資料						

## 評価方法

小テスト（30％） 定期試験（70％）

## 履修上の留意点

1. 評価方法は全ての講義出席を基準とする
2. 疾患について学習するためには、基礎的な知識を理解しておくことが前提となるため、本講義前に臨床免疫学Iの内容を復習し理解しておくこと。また、臨床技術者にとって重要な臨床科目であるため、本講義内容を復習し不明な点は質問するなど早期に解決すること。

## オフィスアワー・連絡先

臨床技術学科 N505室  
e-mail : hiroki-kawamura@nuhw.ac.jp